

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年9月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,293	3.3	512	0.1	510	4.9	264	11.0
26年3月期第2四半期	8,993	1.3	511	△18.3	486	△19.7	238	△48.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 328百万円 (△23.2%) 26年3月期第2四半期 427百万円 (△7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	18.26	—
26年3月期第2四半期	16.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	21,082	8,880	42.1	612.38
26年3月期	19,753	8,667	43.9	597.73

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,880百万円 26年3月期 8,667百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△2.3	820	△12.2	730	△16.2	430	△15.1	29.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	15,595,050 株	26年3月期	15,595,050 株
27年3月期2Q	1,093,762 株	26年3月期	1,093,718 株
27年3月期2Q	14,501,302 株	26年3月期2Q	14,501,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費が弱含みながら、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は引き続き底堅い動きを見せているものの、情報機器及び生活機器の分野では価格競争の激化により、厳しい状況が続いております。

こうした状況にあつて当社グループは、収益モデルの再構築を目指して、人材育成と営業部門強化に向けたプロジェクトに取り組むと共に、更なる生産性の強化とコスト削減を目指して、設備・人員の再配置、在庫削減及びV A (価値分析) を推し進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は92億9千3百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は5億1千2百万円(前年同期比0.1%増)、経常利益は5億1千万円(前年同期比4.9%増)、四半期純利益は2億6千4百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、S S 業界の大手顧客やカーディーラー及び整備工場におきまして、買い替え需要が継続し販売台数を伸ばしました。また、オイル関連製品では、エアコンプレッシャーを中心に好調に推移したほか、政府の補助金制度もありローリーの売上が伸長しました。この結果、売上高は前年同期比8.1%増の61億9百万円となりました。

## (情報機器事業)

官需関連の道路情報板は、前年度受注分を当第2四半期までに納入できたことにより、前年同期を上回りました。しかし、一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機は、新製品の市場導入により積極的な拡販に努めたものの、海外製品との厳しい価格競争や顧客の設備投資抑制の影響を受け苦戦しました。この結果、売上高は前年同期比11.0%減の9億7千7百万円となりました。

## (生活機器事業)

消費税増税前の駆け込み需要の反動が回復せず、消費マインドの冷え込みから調理家電を含めた一般家庭向け商材及び農家向け商材共に厳しい状況が続きました。また、保冷米びつは、O E M 供給や販売促進企画が功を奏し堅調に伸長したものの、主力の農産物低温貯蔵庫は伸び悩み、売上高は前年同期比2.9%減の16億8百万円となりました。

## (住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等の製造・販売を行っております。主要取引先である建設業界は、資材価格の高騰や職人不足により公共工事の入札不調・不落が続くなど厳しい状況が続いておりますが、前年度に積み上がった受注残が当上期の売上に寄与し、売上高は前年同期比2.4%増の5億1千万円となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続く中、ビジネス・観光共に需要は回復基調で推移し、売上高は前年同期比1.0%増の8千6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億2千8百万円増加し210億8千2百万円となりました。流動資産は12億6千4百万円増の117億4千6百万円、固定資産は6千2百万円増の93億3千4百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、たな卸資産が9億1千9百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ11億1千6百万円増加し122億2百万円となりました。流動負債は17億2百万円増の94億8千6百万円、固定負債は5億8千5百万円減の27億1千6百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金で10億3千5百万円増加したことと買掛金が3億4千1百万円増加したこと、長期借入金で7億1千8百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ2億1千2百万円増加し、88億8千万円となりました。これは主に四半期純利益2億6千4百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加し、6億4千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億5千4百万円(前年同期比1億1百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億1千5百万円を計上したことや仕入債務の増加額3億9千7百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加額3億4千8百万円とたな卸資産の増加額9億3千1百万円により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億4千1百万円(前年同期比2千9百万円の増加)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入8千1百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出2億1千万円により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億6百万円(前年同期比7千3百万円の増加)となりました。主な要因は、短期借入金の純増額2億3千万円と長期借入金による収入8億3千万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出5億1千3百万円により資金が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては概ね計画どおりに推移しております。よって、現時点では平成26年5月1日付「平成26年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,706,257	1,706,555
受取手形及び売掛金	4,190,711	4,523,056
商品及び製品	1,209,553	1,770,675
仕掛品	1,219,865	1,392,375
原材料及び貯蔵品	1,863,542	2,049,137
その他	329,636	339,689
貸倒引当金	△37,848	△35,407
流動資産合計	10,481,718	11,746,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,728,681	2,630,602
機械装置及び運搬具(純額)	249,656	325,196
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	137,262	186,759
有形固定資産合計	6,096,765	6,123,722
無形固定資産		
のれん	948,178	893,745
その他	505,694	509,081
無形固定資産合計	1,453,872	1,402,826
投資その他の資産	1,721,548	1,807,641
固定資産合計	9,272,186	9,334,190
繰延資産	—	2,487
資産合計	19,753,904	21,082,760

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,074	1,381,689
短期借入金	2,210,000	2,440,000
1年内返済予定の長期借入金	842,396	1,877,490
未払金	2,828,174	2,897,611
未払法人税等	313,349	246,976
賞与引当金	260,690	279,810
引当金	78,457	78,457
その他	263,112	284,481
流動負債合計	7,784,254	9,486,515
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	2,820,518	2,102,188
退職給付引当金	238,689	211,481
その他	242,623	302,331
固定負債合計	3,301,831	2,716,001
負債合計	11,086,085	12,202,516
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,810,575	2,959,406
自己株式	△510,386	△510,402
株主資本合計	8,624,884	8,773,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,408	185,752
繰延ヘッジ損益	3,036	12,454
為替換算調整勘定	△38,510	△91,664
その他の包括利益累計額合計	42,934	106,543
純資産合計	8,667,819	8,880,243
負債純資産合計	19,753,904	21,082,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	8,993,008	9,293,662
売上原価	5,980,742	6,157,057
売上総利益	3,012,265	3,136,604
販売費及び一般管理費	2,500,602	2,624,374
営業利益	511,663	512,229
営業外収益		
受取配当金	17,205	19,410
その他	37,166	34,294
営業外収益合計	54,371	53,704
営業外費用		
支払利息	48,307	40,203
その他	31,482	15,536
営業外費用合計	79,789	55,739
経常利益	486,244	510,195
特別利益		
固定資産売却益	208	4,123
投資有価証券売却益	—	4,044
特別利益合計	208	8,167
特別損失		
固定資産除却損	1,976	2,656
投資有価証券評価損	—	39
特別損失合計	1,976	2,696
税金等調整前四半期純利益	484,476	515,666
法人税、住民税及び事業税	209,723	235,816
法人税等調整額	36,107	15,007
法人税等合計	245,831	250,824
少数株主損益調整前四半期純利益	238,645	264,841
四半期純利益	238,645	264,841



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238,645	264,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,625	107,344
繰延ヘッジ損益	△13,900	9,417
為替換算調整勘定	165,142	△53,153
その他の包括利益合計	188,867	63,609
四半期包括利益	427,513	328,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,513	328,450

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	484,476	515,666
減価償却費	205,065	195,855
のれん償却額	54,432	54,432
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,460	△2,469
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,080	19,120
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,252	△27,208
受取利息及び受取配当金	△17,968	△20,445
支払利息	48,307	40,203
有形固定資産売却損益 (△は益)	△208	△4,123
有形固定資産除却損	1,976	2,656
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4,044
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△682,916	△348,931
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△570,787	△931,643
その他の資産の増減額 (△は増加)	6,058	△16,115
仕入債務の増減額 (△は減少)	80,547	397,888
その他の負債の増減額 (△は減少)	263,636	190,897
小計	△173,253	61,776
利息及び配当金の受取額	17,935	20,413
利息の支払額	△42,735	△34,666
法人税等の支払額	△158,228	△301,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	△356,281	△254,472
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,042,500	△787,500
定期預金の払戻による収入	1,042,500	787,500
有形固定資産の取得による支出	△129,476	△210,375
有形固定資産の売却による収入	258	2,382
無形固定資産の取得による支出	△4,366	△10,289
投資有価証券の取得による支出	△2,865	△2,579
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,830	81,037
貸付けによる支出	△960	—
貸付金の回収による収入	780	2,380
その他の収入	18,263	3,365
その他の支出	△1,858	△7,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,393	△141,438

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180,000	230,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18,647	△24,634
長期借入れによる収入	900,000	830,000
長期借入金の返済による支出	△612,248	△513,236
社債の発行による収入	—	100,000
社債の償還による支出	—	△100,000
自己株式の取得による支出	△264	△15
配当金の支払額	△116,016	△116,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	332,823	406,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,495	△9,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△122,355	298
現金及び現金同等物の期首残高	481,704	647,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	359,348	648,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,653,982	1,098,322	1,656,270	498,690	85,741	8,993,008	—	8,993,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,759	20,693	170,400	24	74,625	271,503	△271,503	—
計	5,659,742	1,119,015	1,826,671	498,715	160,366	9,264,511	△271,503	8,993,008
セグメント利益又は 損失(△)	892,820	△57,935	172,726	△102,499	31,738	936,851	△425,188	511,663

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△425,188千円には、セグメント間取引消去13,038千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△438,227千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,109,765	977,704	1,608,680	510,906	86,605	9,293,662	—	9,293,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,034	28,910	178,978	129	73,890	283,943	△283,943	—
計	6,111,799	1,006,614	1,787,659	511,035	160,495	9,577,605	△283,943	9,293,662
セグメント利益又は 損失(△)	954,562	△15,111	92,504	△113,557	21,809	940,207	△427,978	512,229

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△427,978千円には、セグメント間取引消去13,037千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△441,015千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。